夕刊 常磐毎日

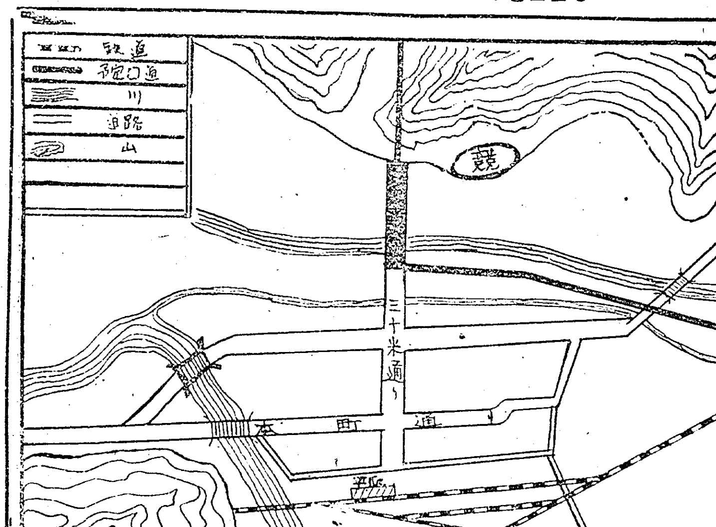
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞 電話1210
編集兼印刷発行人 池田一夫

尼子橋から谷川瀬へ
平小國道決定し再陳情

平小道路の二級国道編入問題について、地元市町村からの要請に応じて来平した、高木松吉代議士から建設省並びに道路審議会の意向をつぶさに報告を受けた、平市では、二日午後一時から緊急協議会を開催、首脳部並びに、金古議長、強口市長、山口復興事務所長、小斎土監所長、但野失対事務所長、渡部市土木課長らが参集して協議の結果、平市将来発展のために、最初予定されていた尼子橋から長橋町を経て地方事務所前から税務署前を経て三十米道路に合して、三十米道路の延長を競輪場わきの山麓から、既設の県道に通ずる経過地を変更して

尼子橋から新川に沿うて平工、平商校の南側を通り、三十米道路延長予定地点で合して競輪場わきの山麓に至る延長千六百米幅員十一米の新道路線に変更と決定したので、この最後案を持つて沿線関係町村長らと共に、市長、議長、強口市議、山口復興事務所長らが五日に再度上京高木代議士の案内で建設省並びに道路審議会に猛陳情をすることとなつた

上荒川から先は、小名浜まで目下のバス路線である県道を幅員十一米に拡張するもので、最初の案である長橋町から税務署前を通つて三十米に合する経過線は、別途に復興計画継続事業として、本年度中に二千五百万円を以て整備されるし、三十米延長五百米工事も県の失対事業に編入されて完成されることとなつており、土地買収費として五百万円を予算に計上されている、編入予定路線が確定完成されれば南へ発展してゆく平市の中心地となるものとしてその期待は非常に大きい（凸版は予定地）



小名浜保育所 志願激増
収容難で悩む

小名浜第三保育所の本年度志望者は、退所生七〇名のところへ、志望者一六〇名ありこれが選考に所長鈴木氏は悩まされている一方父兄らはあの手この手で入所しようと運動を試み収容難を嘆いている

鈴木所長談　保育所の使命を理解せぬ者が多く、私としては児童福祉法を生かして児童の真の保育でありたいと努力している

電産総評脱退
平分會再確

電産平分会執行委員会は五日午前九時から東北電力平営業所内同分会事務室で開き、さきの分会大会で決議した総評脱退と中央不信任問題について斗議した結果、今後の組合活動は日常討争を含めた企業別組織が本意であるとし、分会大会の総評脱退と中央不信任決議を再確認、十七、八の両日開かれる県支部大会東北地方大会に提出する態度を決めた

おすゝめ出来る 一流メーカー製品 メリヤス 肌着
ツルヤ 平四丁目 電140

スト法に反對
九日職場毎に氣勢

日砿常連では四日午後一時から委員会を開催、スト規制法設置反対について討議した結果、来る九日傘下廿六組合が「スト規制法反対ケツ起大会」を開らき、本部宛電報陳情を行い気勢をあげる事に決定し、同日各職場に指令を発した

常炭は署名運動

常炭連では、三日の代表者会議で「スト規制法反対の署名運動」を起すことに決定、四日傘下組合に指令を発したが傘下十八組合員一万七千名の署名を十日までに取まとめ、十五日頃武藤会長ら代表が上京、民労連を通じて政府に陳情する

湯本遺族懇談会

湯本町では、八日午後一時から公民館で遺家族懇談会を開らき、生業資金貸付其他について協議する

母の日
湯本小で

湯本第一小校では六日の母の日に因んで、午後一時から父兄を招待して「パネルデスカッション」を開らく父兄の授業参観後お母さん方が一日生徒となつて、「家庭に於ける生活指導をどうすべきか」について勉強する、先生は同校北郷、斎藤両職員の外、伊藤成人教育委員らで、前閣について講義をうけた後

▽しつけ教育をどうするか
▽家庭学習の方法

を中心にお母さん達が一日生徒として勉強する

若き技術者巣立ち
平工高晴れの卒業式

平工業高校第五回卒業式は、五日午后一時から同校講堂で来賓諸橋市長ほか多数が出席して開かれた式は県知事代理などの祝辞があり在校生の「ほたるの光」に送られ卒業生二百八十二名はみとせ学業を共にした学舎を去つていつた、なお当日表彰された者次の通り

▼優等賞山中静雄、吉田孝之、高橋良平、小林正守、政井忠久足利谷健司
▼学習優良賞小野栄一ほか二十七名
▼三年間皆勤賞吉田幸之ほか四十八名
▼生徒会功労賞木村一雄ほか十七名
▼クラブ功労賞矢野貞雄ほか九十八名
▼県高体連賞猪狩宗明
▼地区高体連賞熊倉則男ほか三名

女三人寄れば
酒に酔う

春のささやきにうかれた三少女が飲酒の末路上で暴れているところを平市署に保護された。片倉製糸平工場製糸女工Aさん(一九)Bさん(一九)Cさん(二〇)は四日午后三時頃平駅前飲食店に入つたまではよいがさあなにをとりましようとしばし卓上協議した結果まず酒と言うことになり、一、二合と飲んでいるうちさすがの女丈夫さん蛮腰がフラワダンス以上となり、夕やみせまる頃は意識もうろう、路上で赤い気えん外ならぬものを吐いていたわけ

住吉工場から盗む
不良坑夫らの一味検挙

内郷地区署では内郷町宮字宮沢二常磐炭鉱住吉坑鉄工手滝川政治(三〇)－既報窃盗容疑逮補者－を検事拘留で取り調べた結果、二十六年十月一日から二十八年二月二十日ごろまでの間に、同職場の同町宮字金坂六九原寛信(三九)、同高坂字桜井九二加藤清(三〇)、同高坂字御殿一渡辺護信(三七)ら三名が、二十七回にわたつて常磐炭鉱内郷鉱住吉一坑工作係住吉工場から砲金十八貫匁、バビツト六貫匁時価三万二千円相当を窃取し、これを盗品と知りながら滝川が故買した余罪が発覚、五日滝川を窃盗、贓物故買容疑で身柄送検、原ほか二名を窃盗容疑で取調べ同日書類送検した、なお同署では常磐炭砿内郷鉱工作係に対し更に捜査の手を差し述べるもよう

借金を苦に
元運転手服毒

小名浜町蛭川字新川間九〇番地元の磐城貨物小名浜第一営業所自動車運転手山田栄司(四七)は、三日午前十一時頃同町横町料亭松見でネコイラズ服毒自殺を計つたが未遂に終り、石井医院に入院加療中、妻子を持ちながら他の女に関係した為めに借金がかさなりそれを苦にして……

江名荒し捕る

本籍地秋田県雄勝郡小幡町、住居不定無職高久重高(三五)は、二日午後九時頃錦町大倉字大島道路上に置いてあつた、同町中田字須賀八番地村野太さん所有の自転車（一万五千円相当）とボストン（三千円相当）を盗み、三日午前二時頃小名浜町西町川田屋前道路で、小名浜地区署常松刑事に御用

家出少年保護

平市署では四日午后九時ごろ相馬郡小高地区署から家出手配の同郡小高町字南小高農遠藤晶さん三男学生正雄君(一二)を保護した

双葉便り

富岡町小良ケ浜漁港の災害復旧工事は、三百八十五万五千円の予算を計上、隧道の切割、船引路面突堤工事を行う

×

富岡町消防番屋は五十一万六千円の予算で三十二坪、二階建てを新築する

×

六日午前十時から双葉地方事務所で、県社会教育課坂下主事の出席の下に教育委員並に事務局関係職員の社会教育及び公民館運営研究会を開く

赤井に落盤
一名即死す

四日午前十時三十分ごろ石城郡赤井村大字大倉赤井共栄炭鉱に落盤があり、採炭夫小柳春雄さん(三七)は、重傷を負い平市竹林病院に、担ぎ込まれ手当を受けていたが、五日午前零時五分ごろ死亡した

不良学生盗み
内郷一中の三名

内郷町宮字釜根五四一中三年生大木某(一五)、同字五七一中三年生井上某(一五)、同字六五二中二年生小野某(一四)の三名は共謀して去る一月二十二日午後七時ごろ宮部落管理の宮山神社境内から二、六粍電燈被服線二百五十匁時価二百五十円を窃取したほか、同月二十七、二十八日の二日間、同宮釜根五七採炭夫土田長太郎さん(三七)、同宮平太郎三八長田寿さん(五三)の兎小屋からアンゴラ兎白色三匹、黒色一匹、時価千五百円相当を窃取した疑いで、五日内郷地区署で取り調べられた

老人の水死
病気を悲観し

五日午前九時頃、石城郡夏井村浅沼川に五十五、六才の水死体があるのを通行人が発見平地区署に届出た、届出により係官が現場に行き調査した結果同日家出した大浦村大字仁井田農鈴木貫一さん(五六)と判明した、なお鈴木貫一さんは精神異状者で自宅静養していたもの

御商談御会合に 割烹 開花

大谷石 木炭 五丁目 電六六 井上

江戸前 寿しのみしま 電話315

コロムビアラジオ 特約店 二六二〇 日東商会

寿司は花長 『花長の支那そば』

季節ふぐと天ぷら 酒の味 天金 平市三田小路 電九五〇

○○開店御知らせ○○
皆様桜の花にさきがけて
三月七日土曜日開店致します
全品……最新の型、柄そして値段
ぜひ御覧下さい
洋品装身具
当分御買上の方へ粗品呈上
流行はまず百合から
ひやくごう 百合 電話一、一七一
平市駅前大通り

締切迫る!! 關西と四國の廻遊旅 (特別仕立臨時列車で)
期日 三日、十六日出発 三月二十三日帰り (七泊、八日)
募集人員五〇〇名 (満員次第締切ります)
費用約八千四百円 (平から)
其の他くわしい事は最寄駅又は交通公社にお問合せ下さい
主催 水戸鉄道管理局 各駅 日本交通公社

外科 内科 金成医院 平市鎌田町 電話八二六番

近代的純食堂 御商談に 御会合に ぜひ御利用のほどを
レストラン パール
RESTAURANT PEARL 真珠 TEL 1388
平市田町(大丸脇)

女教員はボイコット
地方採用教員に申込殺到

教委石城出張所では、二十八年度教員異動にともなう地方採用教員の受付を行つて来たが、二月末日で締切つた届出は、男百七十八名女百九十名の計三百六十八名で、昨年の倍と言うものすごさ、申込みのうち高校卒業生が大半の三百名以上で、大学卒は僅か十数名と言われる。これに対する教員の採用定員は始め予想されていた三十名からだんだん少くなり、十名採用もおぼつかないと係では語つており、この申込三十三名に対し採用は一名と言う前代未聞の競争率採用範囲は英語、図画、工作、体育と言つた中学教員用の特殊技能を持つ者程度に限定されている状態で、高校卒業、女教員などは学校もボイコットと言つたところ

卒業生を招待
十六日公会堂でお祝い

平市では今春学び家を巣立つ市内の小、中学校生徒、小学生二千十名、中学校一千九百名を十六日午前十時（小学校）午后一時（中学校）の二回に亘り、公会堂本館に招待して、卒業生の激励会を開き各記念品を贈る

湯本第一の新入生増加

湯本第一小校では、新入一年生の受付を四日午前十時から行つたが、今年は三百三十名で昨年に比べて百名も増加しており これは終戦後、復員引揚等により急増した出生児が、丁度本年入学適齢に達したためと言われている

新入生に眼の検診

平保健所では二十七年度小中高学校児童、生徒のトラホーム患者状況を調査することになり、十三日まで次の三項目の報告を求めることになつた

一、学校生徒、児童、学生数は何名か

二、トラホーム患者数はどの位か

三、患者に対する治療状況の問は次の通り

◇学校では学校医が検診しているか

◇それとも学校医指導のもと養護教諭が行つているか

◇検診は学校医以外の医師が行つているか

◇全然行つていないか

平公民館運営委員会

平市公民館運営審議委員、社会教育委員合同委員会議は、六日午后一時から公民館で開き次の項を審議する

◆公民館落成記念図書購入報告

◆本年度事業報告

◆明年度の実施計画について

湯本一小の新校歌
鈴木校長作

湯本第一小校では、創立八十周年記念にと、校長鈴木謙四郎氏が作詞、岡木敏明氏の作曲で校歌を作製中だつたが、この程完成、六日の母の日に発表会を行う

歌詞

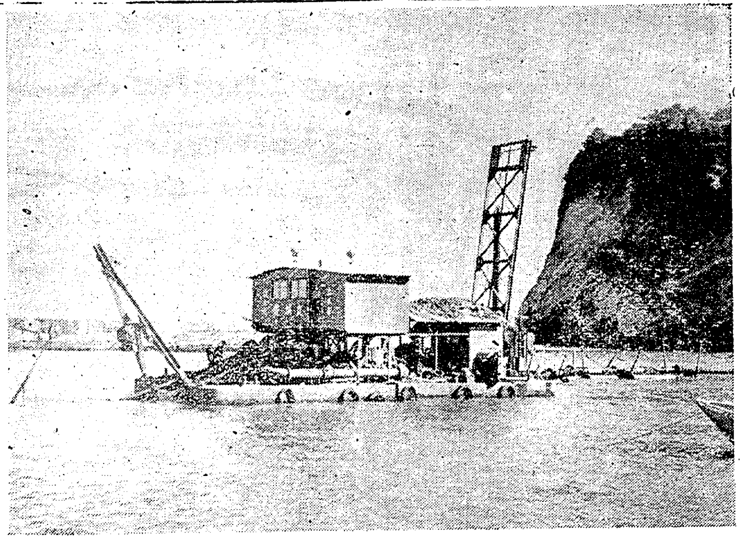
一、湯の岳の、けだかき容、心とし、三函の丘に、つどいよる、我ら友がき、わが道を、ともどもに、正しく強く、ほがらかに歩みて行かむ

二、清らなる、湯泉をあびて、すこやかに、身体たもちて、たゆみなく、我ら友がき、学びのわざを、ともどもに、正しく強く ほがらかに、はげみて行かむ

三、たま炭の、あかきほのおに、身と心、ねりて鍛えて、つゝがなく我ら友がき、わがなりわいを、ともどもに。正しく強く、ほがらかに、みがきて行かむ

腐朽小學校多い
双葉郡下で対策に悩む

富岡土木監督所では県の委嘱をうけて、建築基準法による建物耐用期間経過年数調べを双葉郡内各小学校について実施しているが、現在までの調査によると早急修理の措置をとらなければ安全保障を期しがたい学校は、広野町をはじめ龍田、熊町、大野、久ノ浜、苅野各小校で、これらは建築してから七十年から五十年を経過して居り部分的な修理はしてあるが全体に腐朽建物があり、その内苅野及び大野校の如きは支柱によつてようやく保たれているものもあり、或いは建築から五十年このかた未修理というのもあり、早急修理による補強工作が必要だと赤信号が発せられ、それでなくとも学校費に悩んでいるこれらの町村では緊急措置を講ずることになつた



能率あがらぬ船 久の浜の改築場で

富岡土木監督所では、久ノ浜港のしゆんせつを行うため、今月始め四ツ倉港から県土木部の磐城丸を回航一ケ月の予定で作業を開始したが停電につぐ緊急で能率がさつぱり上らない、気をもんだ築港事務所の西村技師、基本電力料金は使用してもしなくとも毎日二千四百円は支払うし、作業はバツタリ停止しても労賃は支払うし期限がくれば豊間港へ廻航しなくてはならぬしこれでは泣き面に蜂だ、とこぼしている

（写真波静かな港内に送電をまつ作業船）

緑の羽根
近く街頭へ

郷土を豊にするにはまず緑化運動からという趣旨で、毎年行われて来た国土緑化福島県推進委員会主催の「みどりの羽根」募金運動は今年も旬日に近ずいた、運動に先立ち、二十八年度割当本数は石城郡が二万九千本（二十七年度二万三千本）平市は五万本（三万本）とそれぞれ決定した、これで得た募金額は羽根代（二十七年は一本三十銭）だけを推進委員会に返済、残りの募金額は募金地市町村の造林関係に一任とあるので成績は百%を上廻ることが予想される、なお募金は四月一日頃から一ケ月間が予定されている

平局加入電話増設御案内

平素各別の御愛顧を蒙り厚く御礼申上げます さてこの度当家之左記の通り平局加入電話を増設致しましたので何卒御利用の程願上げます 尚今後共倍旧の御引立を賜ります様御案内かたぐ御願申上げます

平局加入電話番号

（平）八六九番

田中喜平

内郷町宮平太郎三二

万葉集
青年に贈る 鈴木校長脱稿

湯本第一小校々長鈴木謙四郎氏はこの程「青少年に送る万葉集」を脱稿、近々東京某出版社から第一巻を出版の予定であるが、去る廿三年五月五日に、戦後の廃退した道徳を憂い、筋金を忘れた青少年らに万葉を通じて精神教育を発意してから、五ケ年に及ぶ研究が実を結んだもので、万葉廿巻四千五百首に及ぶ古典芸術を、青少年にわかり易く国語化したもので出版が期待されている。今回出版されるものは第一巻で、鈴木校長は生がいこの研究を続けると言つており年一回一巻宛出版の予定である、第一巻の内容は

▽作者の紹介、作歌の心境、文法歌法等

青少年に判り易い貴重な研究資料である

耳と目

石炭協会の清宮一郎さんは「若く見られたい」「長生きしたい」というので、薬や食糧の研究したが、薬よりもやつぱり食糧による若返えりが一番よいと、ホルモン欠乏期に入つた市内有名人と連盟で、ホルモン飲用の宣伝に努めている

◇

アメリカ特にブルガリア人が常用している「ヨーグルト」という牛乳の様なものが一番効果てき面でこれを愛用したところ、清宮さんも若くなつたという。愛好同志の中には諸橋市長や野崎満蔵さんなどの名もつらねられ、このところ市内ホルモン党を結成しかねじまき勢いにて研究が行われている

炭鑛の街内郷
どうして不良児が多いか

犯罪人の巣と不良児の群のみで構成されているような不良の町を、明るく住みよい町として、いまわしい問題を根本的に解決するにはどうしたらよいか、内郷町多年の悩みを一挙に解決させようとこのほど内郷町全般にわたる科学的な調査のメスが、国立精神衛生研究所社会部長横山定雄[illegible]係員の来町によつて、三週間にわたる、科学のメスを加えた結果、同町の診断書が出来上つた。いわゆる学者のレポであるため、理想論のみがとりあげられているが、さてこれらの中から、何を一番最初に具体化してゆくか

内郷町がどうして青少年の不良が多いでしようか

①社会生活が苦しく、少しでも家庭のためと、主婦らは石炭拾いや金物拾いをやつている。これらの姿を見て子供らも判断がつかぬまま母の手伝いと思つて拾いやを始める、その揚句は窃盗をやる、不良行為を真似る

②親達は子供のしつけ方及び教育について関心をもたぬ 忙しいままタダ怒る。殴る、そして放任して置く、ズル休みしても無関心でいる

内郷浄化に起ち上る
まず学者連の調査レポから ①

③家庭と子供とのつながりが薄い子供も親が留守勝であるので親とのつながりが薄くなり勝で不良となる、親としても仕事があり、子供が[illegible]て面倒を見ていられない

④学校に対する子供の興味も薄らぐこれらは学校が子供にとつて楽しいところでなくなつている魅力ない学校であり一日休むと自然学校への足が遠くなる

⑤町の中に不良青少年のグループが多い。子供らを集めて、悪事を働かせ菓子や映画など見物させている青年やいわゆるガキ大将がいる

⑥義務教育を終了してから適当な働き場所がないのでフラくしているので悪事を働く様になる。これら青少年を善導する機関がない事を痛切に感じられる長期欠席児童の問題と学校児童施設の研究が必要です

生活態度の調査を見ると都会にあこがれているものが多く、何故長期欠席せねばならぬかの調査によると

家庭の貧困が第一にあげられている。このような家庭であるから教育に対しても無理解で、学校など問題にせず、反して教科材料を購入しなくともよいとか金がかからぬなどで喜んでいる向もある

またこれらを更らに調査すると、父が死亡している、父母が共稼ぎ継母、兄が学校へ行かぬから、学用品がない。近所の子供らも行かぬので自然行かぬなど挙げられている

かくて学校成績は悪るくなり、自然に足が遠くなつて、ズル休みが多くなる

（つづく）

電話新設 一三〇〇番（三丁目工房）
広告のデパート
看板と塗装 あらゆる広告の御相談!!
平AD社
土屋正二
工房 平市一ノ一 平市三丁目 市外小島三又

第18回常陽幸運定期
幸運賞20万圓
1口千円6ケ月
お取扱2月11日から4月10日まで
割増金4月22日
支払抽せん5月1日から
常陽銀行 平支店 平二 電30 −643−1292

牛と豚肉 ハムと、ソーセージ
藤越
平電1282

受験準備用
参考書 自修書
辞書 地図 全科
大魁文堂

問……この霜降牛肉でこの価額では安い？
答……本場より活牛で移入して直売するからね？
牛豚肉問屋
合名会社 緑屋
本店 一丁目 電五三九番
支店 中央通 電七九四番
良品販売に優る商略なし

産婦人科
平市向鎌田
松本医院

割烹
小料理・和洋食・そば
名代しること特製支那そば
お江戸寿 奈加や
平市支柱小路 電三九五
出前迅速

求土地建物 多数申込みあり至急買いたし
福島県知事登録済
平土地建物取引所
平市才槌小路踏切際色川材木店内 電三六一

丈夫でスマートな
藤倉の運動靴
平三 代理店 横山商店 電話94

移転お知らせ
今回都合に依り駅前大通り「常磐交通バス停留場前」に移転致しました
相変ず御引立御愛顧の程お願い申上げます
昭和廿八年三月二日
各位
伏見海苔店
店主敬白
（旧店中央通りまさごや隣）